

駒ヶ根市の音環境に関する検討 — 大学生を対象として —

松本じゅん子¹⁾, 野坂俊弥¹⁾, 北山秋雄¹⁾, 多賀谷昭¹⁾

【要 旨】 長野県駒ヶ根市の音環境がそこで暮らす人々にとってどのようなものであるかを検討するため、自由記述式の質問紙調査を行った。駒ヶ根市内の大学に通う大学生を対象に、駒ヶ根市内でよく聞こえる音とあまり聞くことができない音をそれぞれ列挙し、さらに、駒ヶ根市の音環境についての意見を記述するよう求めた。その結果、駒ヶ根市内でよく聞こえるとされた音は、風の音、鳥の声、川の音、市内放送の音、カエルの声であり、自然の音や地域に密着した音が多く挙げられていた。一方、あまり聞くことができないとされた音は、車の音、人の声、電車の音、商業施設の音、物売りの声であり、人の生活に関わる音が多く挙げられていた。駒ヶ根市の音環境については、静かで自然の音が多いという回答が多く、肯定的な意見が全体の3/4を占めた。同様の調査を行った京都市では、その音環境に肯定的な意見が全体の約1/3であったのと比べて、駒ヶ根市では肯定的な意見が多かった。これらの結果より、駒ヶ根市は暮らしやすい音環境を有していると考えられる。

【キーワード】 音環境, 駒ヶ根市, 自然環境, 自然の音, 大学生

はじめに

長野県は国土緑化推進機構によって2009年9月時点で7ヶ所の森林セラピー基地および1ヶ所のセラピーロードが認定されており、現在全国最多の認定数である。このようなことから、長野県は国内において自然が特に豊かな地域であることは明白である。

しかし、ヒトが認識する自然環境は様々な要素で構成されており、少なくともヒトにおいては、視覚のみならず聴覚や嗅覚からも情報を受け取っている。その中の聴覚によって認識される音環境に関しては、これまで騒音などの音に関する問題が少ない地域においては特に調べられてきていない。松本ら(2009)は、岩宮ら(1992)で使用された指標と同様のものを用い、長野県駒ヶ根市で聞こえる複数の音の印象を実験

によって調べた。その結果、音の印象に関しては、岩宮ら(1992)とは異なり、懐かしさを含む因子構造が示され、里山の音の印象の特徴が示唆された。しかし、そこで使用された音刺激に関しては、それらがその地域の代表的な音であるかどうかは確認されていない。

そこで、本研究では、駒ヶ根市内で聞こえる代表的な音の種類を調べ、実際にどのような音環境が地域でみられるのか実態を明らかにすることとした。地域の音環境の特色を抽出することにより、地域の音の名所を提案する際の基礎的資料として利用でき、地域の活性化につながることも考えられる。また、駒ヶ根市内での調査の他に、他地域の音環境についても同様に調べ、比較検討する資料として用いることとした。

なお、駒ヶ根市は長野県南部に位置し、東に南アル

¹⁾ 長野県看護大学
2009年10月1日受付
2010年1月20日受理

プスを、西に中央アルプスを望むことができる地域である。市の中心部の標高は676mであり、2009年8月現在の人口は約3万4千人である。

調査1

駒ヶ根市内の大学に通う大学生を対象に、駒ヶ根市内の音環境について尋ねた。

方法

1. 調査対象者

大学生138名（男性11名、女性125名、不明2名）。平均年齢は20.5歳（SD = 1.9, 18-31歳）であった。

2. 調査内容

質問紙は次の3つから構成された。岩宮ら（1998）、岩宮ら（1999）を参考に作成した。

- 1) 駒ヶ根市内でよく聞こえ、他の地域ではあまり聞くことができない音
- 2) 他の地域でよく聞こえ、駒ヶ根市内ではあまり聞くことができない音
- 3) 駒ヶ根市内の音環境について、どのように思うか
 - 1) および2) に関しては、それぞれ最大5つまで記入を求め、それらの音に対してどのように感じるかについても回答を求めた。
 - 3) については、自由記述により回答を求めた。

調査は2009年1月に実施した。なお、調査については長野県看護大学倫理委員会の承認を得た（平成20年12月18日、承認番号20）。

結果と考察

1. 駒ヶ根市内でよく聞こえ、他の地域ではあまり聞くことができない音

延べ229の回答が得られた。ほぼ同じ意味の言葉を含むと思われる音の種類や音に対する意見は、同一のものとしてまとめた（表1）。

回答の中で最も多かったものは、「風の音」であり、全体の19.1%の回答が含まれた。風の音に対しては『寒い』、『怖い』、『強い』といった意見が多く、肯定

的な意見は多くはなかった。風の音は駒ヶ根市内でよく聞こえる音であり、非常に強い印象があると考えられた。次に多く得られた回答は、「鳥の声」であった。『心地よい』という意見がみられ、ウグイスやカッコウの声が聞こえることが報告されていた。3番目に多い音は、「川の音」であった。川の流れる音も鳥の声と同じように、『心地よい』という回答が得られており、回答からは、大田切川や天竜川などの大きな川だけでなく、道沿いの小さな水路も含まれているものと考えられた。次に多い回答は、「市内放送の音」であった。場所によっては、『よく聞こえない』という場合があるようであった。しかし、行方不明者の捜索依頼や火事の知らせがあるように、『地域に密着している』と感じられている面がうかがえた。5番目に多かった回答は、「カエルの声」であった。『うるさい』と思われる音ではあるものの、『季節を感じさせる』音でもあり、5月から6月にかけては多くの場所でカエルの合唱が聞こえるものと考えられた。

これらの上位5つの音に関しては、風や川の音など自然によるものが多く、都会ではあまり感じる事ができないものが含まれていると推測される。これらの音は、車や電車の音、人混みの音、繁華街のBGMなどが殆ど聞こえないところでこそ耳に届き、それらの音に敏感になるものと考えられる。市内放送に関しても都会では殆ど聞くことができないと思われ、屋外のスピーカーから屋内まで内容を伝えることができるのは、その音を遮る物や音が少ないからこそ可能と思われる。また、市内放送は地域で共有している音でもあり、社会的側面を有する音といえるだろう。いずれの音も地域の人々の生活の中に含まれる音であり、それらの音が聞こえる環境は非常に静かなものと考えられる。

2. 他の地域でよく聞こえ、駒ヶ根市内ではあまり聞くことができない音

延べ176の回答が得られた。上記と同様に、ほぼ同じ意味の言葉を含むと思われる音の種類や音に対する意見は同一のものとしてまとめた（表2）。

最も多い回答は、「車の音」であった。車の音に対しては『うるさい』、『不快』といった意見が多くみられたが、駒ヶ根市内では車は通るものの、渋滞は減多

表1 駒ヶ根市内でよく聞こえ、他の地域ではあまり聞くことができない音

音の種類	回答者数	%	その音に対してどのように感じるか (回答数, 複数回答あり)
風の音	44	19.1	寒い (13), 強い (9), 怖い (8), 気持ち良い (4), 不快 (3), 自然の音 (3), うるさい (3), 心細い (1), 気になる (1), うっとおしい (1), 眠くなる (1), 駒ヶ根独特の音 (1)
鳥の声	21	9.1	心地よい (5), さわやか (2), 初めて聞いた (カッコウの声) (2), 落ち着く (1), 癒される (1), 和む (1), 心が和らぐ (1), 嬉しい (1), のどか (1), 風情がある (1), 田舎 (1), 朝だと思う (1), 朝はうるさい (1)
川の音	19	8.3	心地よい (4), 自然豊か (3), 安らぐ (2), 和む (1), 癒される (1), 落ち着く (1), すがすがしい (1), のどか (1), 田舎 (1), 季節を感じる (1), うるさい (1), 特に何とも思わない (1)
市内放送の音	17	7.4	よく聞こえない (5), 地域に密着している (4), 驚き (4), 何が起こったかわかる (2), 田舎 (1), 時々うるさい (1), 高齢者が多い (1), 「またか」 (1)
カエルの声	16	7.0	季節を感じる (6), うるさい (5), 田んぼ (2), 癒される (1), 風情がある (1), 自然豊か (1)
大学の鐘の音	15	6.5	時間がわかる (3), 和む (2), 月ごとに曲が変わって良い (2), 心地よい (1), さわやか (1), きれいな音 (1), 大学の存在 (1), 気にならない (1)
市内で鳴るチャイム, 音楽	15	6.5	時間がわかる (6), なぜ11時半に鳴るのか (3), どうして鳴るのか不思議 (2), 不快ではない (2), 驚く (1), うるさい (1), 小学生の頃を思い出す (1), 他の地域にはない (1)
救急車の音	13	5.7	事故が多い (3), 少しうるさい (3), 緊張する (2), 病院が近い (2), 不安 (1), 何かあったのか (1), 良い心地はしない (1)
車の音	10	4.4	うるさい (4), 怖い (1), 気が休まらない (1), 特に何も感じない (1)
鉄砲音	9	3.9	不快 (3), 驚く (2), 怖い (2), うるさい (2), 何の音か (1)
ラジオ体操の音楽	7	3.0	微笑ましい (1), 心地よい (1), 少しうるさい (1), ゆっくりしたい時は迷惑 (1), 朝から大変 (1)
虫の声	4	1.7	懐かしい (1), 風情がある (1), 自然豊かな証拠 (1), 少し気持ち悪い (1)
電車の音	4	1.7	うるさい (1), 何とも思わない (1)
音がしない	4	1.7	落ち着く (2), 田舎 (1), 何て静かな場所 (1)
犬の声	3	1.3	かまいたい (1), 怖い (1)
人の足音	3	1.3	うるさい (1), 人が少ない (1)
工場のチャイム	3	1.3	日常の音 (1), 特に何も感じない (1)
工事の音	3	1.3	うるさい (2), 不快 (1)
雷の音	2	0.9	怖い (2)
木のざわめき	2	0.9	癒される (1), 自然豊か (1)
農作業の機械の音	2	0.9	のどか (1), うるさい (1)

n=138

になく、車が非常に多いというわけではないことから、『静か』であることも報告されていた。2番目に多い回答は、「人の声」であった。人の声に対しては『うるさい』と感じられていたが、『にぎやか』という意見もみられた。駒ヶ根市内の人のにぎわいの少なさからか、『寂しい』と感じるところもあることがうかがえた。次に多かった回答は、「電車の音」であった。電車の音に対しては『うるさい』という意見がみられ、

市内を通る電車の本数の少なさによって上位に含まれているものと考えられた。4番目に多かった音は、「商業施設の音」であった。商業施設の音に対しては『にぎやか』という意見がみられ、駒ヶ根市内での繁華街の少なさ、店舗の少なさと関係しているものと考えられた。5番目に多い回答は、「物売りの音」であった。物売りの音に対しては『少しうるさい』と感じるものの、『楽しい』という意見もみられた。駒ヶ根

市内では物売り自体があまり見かけることがないが、回答者の地域の地域では物売りが多かった可能性が考えられた。

以上の結果から、駒ヶ根市内で聞こえない音としては、車や電車の音、人の声、商売に関する音が上位に挙げられていた。これらの音は騒音になるものでもあり得ることから、駒ヶ根市内では騒音問題が起こりにくいともいえるだろう。それらの音の少なさは地域の産業や人口とも関連しており、地域のにぎやかさには欠けるが、静かな音環境であることがこの結果からも

いえるだろう。

3. 駒ヶ根市内の音環境について、どのように思うか

107の回答が得られた。全体では、「静か」という意見が非常に多く得られた(表3)。また、「自然の音が多い」といった意見も多く、駒ヶ根市内でよく聞こえる音やあまり聞くことができない音とも対応していた。また、「静寂」という意見が一部でみられ、単なる静かな状態ではなく、何の音も聞こえない静寂や静けさを感じられることがうかがえた。

さらに、全体の意見を肯定的意見または否定的意見

表2 他の地域でよく聞こえ、駒ヶ根市内ではあまり聞くことができない音

音の種類	回答者数	%	その音に対してどのように感じるか(回答数, 複数回答あり) ¹⁾
車の音	40	22.0	うるさい(18), 不快(7), 静か(6), 聞こえない方がよい(1), イライラする(1), ストレスを感じる(1), <u>少し寂しい</u> (1), 都会(1)
人の声	33	18.1	うるさい(8), にぎやか(4), <u>人がいない</u> (4), 不快(3), <u>寂しい</u> (3), <u>静か</u> (3), 元気そう(2), 楽しそう(2), 都会(2), 面白い(1), ほのぼのしている(1), 少し迷惑(1), 少しイライラする(1), 自然(1)
電車の音	16	8.8	うるさい(5), 都会(3), 懐かしい(2), 心地よい(1), 不快(1), <u>珍しい</u> (1)
商業施設の音	11	6.0	にぎやか(3), 不快(カラオケ, パチンコ店)(2), 活気がある(1), 単調(1), <u>少し寂しい</u> (1)
物売りの音	10	5.5	少しうるさい(3), 楽しい(3), 嬉しい(2), 懐かしい(2), 冬(灯油, 焼き芋)(2)
車のクラクション	7	3.9	驚く(2), うるさい(2), 嫌い(2), 腹が立つ(1), 追い立てられる気がする(1), 都会(1)
信号機の音	6	3.3	和む(2), せかせかする(1), 人通りが激しい(1), 便利(1)
市内の音楽	6	3.3	時間がわかる(2), 情報源(1), 地元ならではの(1), 静か(1)
飛行機の音	6	3.3	うるさい(2), 不快(1)
バイクの音	6	3.3	うるさい(2), 不快(1), 怖い(1), 迷惑(1), <u>静か</u> (1)
暴走族の音	6	3.3	うるさい(3), 不快(2), <u>静か</u> (1)
サイレン	5	2.8	心配(2), <u>安心</u> (2), 不快(1)
騒音	5	2.8	うるさい(2), 落ち着かない(1), <u>静か</u> (1)
鳥の鳴き声	4	2.2	平和(2), すがすがしい(1), 心地よい(1)
海の音	3	1.7	心地よい(1), <u>物珍しい</u> (1), <u>無縁</u> (1)
工事の音	3	1.7	不快(2), うるさい(1), イライラする(1), 気になる(1)
客引きの声	2	1.1	不快(1), 都会(1)
川の音	2	1.1	心地よい(1)
蝉の声	2	1.1	夏(1)
犬の声	2	1.1	不快(1)
火の用心の声	2	1.1	うるさい(1), 怖い(1)

n=138

1) 下線部は、各音が聞こえない状況に関連した回答と思われるもの

に大まかに分類すると、表3に示したように全体の76.6%の回答が肯定的であった。したがって、駒ヶ根市の音環境についてはおおよそ肯定的にとらえられており、音環境における問題は少ないものと考えられた。なお、「静か」という意見の中では、81.1%が肯定的、18.9%が肯定的かつ否定的であった。「自然の音が多い」という意見の中では、85.7%が肯定的、14.3%が肯定的かつ否定的であり、「静寂」という意見の中では、75.0%が肯定的、25.0%が肯定的かつ否定的であった。いずれも否定的な意見は含まれていなかった。

しかし、この結果から駒ヶ根市の音環境が相対的に良いものであるとまでは言うことはできない。そこで次に、他の地域も取り上げて音環境を同様に調べることとした。

表3 駒ヶ根市内の音環境に対する意見

音環境に対する意見	回答者数	%
静か	90	84.1
自然の音が多い	21	19.6
静寂	4	3.7
肯定的	82	76.6
肯定的かつ否定的	17	15.9
否定的	4	3.7
不明	4	3.7

n=107

調査2

他地域として、京都市内の大学に通う大学生を対象に、京都市の音環境について尋ねた。京都市は国内でも有数の観光都市であり、国内の多くの人々が知り、訪れる地域である。そのように知名度が高く、想像のつきやすい地域の音環境を比較対象とすることによって、地方の小さな地域である駒ヶ根市の音環境の様子が相対的に把握しやすくなると考えられた。なお、京都市は京都府南部に位置し、府庁所在地であり、政令指定都市でもある。人口は2009年9月現在で約146万5千人である。

方法

1. 調査対象者

大学生108名（男性36名、女性72名）。平均年齢は19.0歳（SD=.7, 18-21歳）であった。

2. 調査内容

質問紙は、調査1と同様に次の3つから構成された。岩宮ら（1998）、岩宮ら（1999）を参考に作成した。

- 1) 京都市内でよく聞こえ、他の地域ではあまり聞くことができない音
- 2) 他の地域でよく聞こえ、京都市内ではあまり聞くことができない音
- 3) 京都市内の音環境について、どのように思うか

1) および2) に関しては、それぞれ最大5つまで記入を求め、それらの音に対してどのように感じるかについても回答を求めた。3) については、自由記述により回答を求めた。

調査は2009年1月に行った。

結果と考察

1. 京都市内でよく聞こえ、他の地域ではあまり聞くことができない音

延べ175の回答が得られた。調査1と同様に、ほぼ同じ意味の言葉を含むと思われる音の種類や音に対する意見は同一のものとしてまとめた（表4）。

最多の回答は、「古紙回収の音」であった。古紙回収の音に対しては『うるさい』、『しつこい』といった意見がみられ、どちらかという騒音のような音とみなされているものと考えられた。次に多い回答は、「人の声」であった。人の声に対しては『うるさい』という意見がみられたが、人が多く、にぎやかな様子もあるものと思われた。3番目に多かったものは、「関西弁」、「川の音」、「信号機の音」、「車の音」の4つであった。「関西弁」に関しては、2番目に多かった「人の声」に含まれるものともいえるが、敢えて方言を記入していることから、異なる意味をもつものとした。京都弁を『京都らしい』と感じるといった、肯定的な意見が比較的多くみられた。「川の音」に対しては、主に快適に感じられるものとみなされていた。

表4 京都市内でよく聞こえ、他の地域ではあまり聞くことができない音

音の種類	回答者数	%	その音に対してどのように感じるか（回答数，複数回答あり）
古紙回収の音	15	8.6	うるさい (5), しつこい (3), 耳障り (1), 迷惑 (1), 聞き入ってしまう (1), 不思議 (1), 京都らしい (1), 生活の一部 (1)
人の声	13	7.4	うるさい (4), にぎやか (2), 不快 (1), 落ち着く (1), 人が多い (1), 観光地 (1), 学生が多い (1)
関西弁	11	6.3	京都らしい (京都弁) (3), 落ち着く (2), はんなり (1), 丁寧 (1), 嫌悪感 (1), 独特 (1), 芸人 (1)
川の音	11	6.3	心地よい (2), 癒される (2), 落ち着く (1), やすらぐ (1), 不快 (1), 季節を感じる (1), 歴史を感じる (1)
信号機の音	11	6.3	京都らしい (4), 楽しい (1), おもしろい (1), わかりやすい (1), 旅愁を感じる (1), 少し寂しい (1), さびれた感じ (1)
車の音	11	6.3	うるさい (5), イライラする (1), 機械的 (1), 都会 (1), 音が小さい (1), 気にならない (1)
鳥の声	10	5.7	自然 (4), 穏やか (1), さわやか (1), きれい (1), 田舎 (1), うるさい (鳥) (1)
外国人の声	9	5.1	観光地 (3), 国際的 (1), おもしろい (1), 何を言っているかわからない (1)
鐘の音	8	4.6	心地よい (1), 和む (1), 落ち着く (1), わび・さび (1), 少し寂しい (2), 夕方 (1), 京都らしい (1)
救急車の音	8	4.6	よく起こると思う (4), 心配 (2), 不安 (1), 不思議 (1)
車のクラクション	6	3.4	うるさい (2), 不快 (1), マナーが悪い (1), 渋滞 (1)
ト鉢の声	5	2.9	驚く (3), 少し怖い (1), 大変そう (1), 大きな声 (1)
お囃子, 和楽器の音	5	2.9	心地よい (1), 気持が高まる (1), 風流 (1), 季節を感じる (1), 京都らしい (1)
お囃子のBGM	4	2.3	京都らしい (2), 祭り (1), 夏 (1)
バイクの音	4	2.3	うるさい (3)
ゴミ収集車の音	4	2.3	懐かしい (1), 不思議 (1), 賑わっている (1)
鼻歌, 歌声	2	1.1	学生の街 (1)
虫の声	2	1.1	落ち着く (1), うるさい (1)
カエルの声	2	1.1	自然 (1), うるさい (1)
機織りの音	2	1.1	伝統を感じる (1), うるさい (1)
京都の通り名の歌	2	1.1	勉強になる (1), 京都らしい (1)
地下鉄の出入口の音	2	1.1	
電車のホームでの音楽	2	1.1	心地よい (1), 京都らしい (1)
電車の音	2	1.1	不快 (1), うるさい (1)
廃品回収の音	2	1.1	うるさい (1)
右翼の車の音楽	2	1.1	うるさい (1)
工事の音	2	1.1	少しイライラする (1)

n=108

京都市内は長野県と同様に海に面しておらず、その分、鴨川といった市内を流れる川や疎水がより貴重な存在となっていることも考えられた。「信号機の音」とは、横断歩道を渡る際に流れる音であり、音響信号である。

『京都らしい』と感じられるといった意見がみられ、風情のある音と推察された。「車の音」に対しては、『うるさい』という意見がみられ、あまり好ましくないものと認識されていると考えられた。

表5 他の地域でよく聞こえ、京都市内ではあまり聞けない音

音の種類	回答者数	%	その音に対してどのように感じるか (回答数, 複数回答あり) ²⁾
海の音	14	12.7	心地よい (2), <u>聞きたい</u> (2), 落ち着く (1), 趣深い (1), 怖い (1), <u>むなし</u> (1), <u>うらやましい</u> (1)
鳥の声	14	12.7	和む (2), うるさい (スズメ, ニワトリ) (2), 心地よい (1), 癒される (1), 安らぐ (1), のどか (1), 夕焼けのイメージ (カラス) (1), 実家 (山鳩) (1)
虫の声	8	7.3	のどか (1), 安らぐ (1), 癒される (1), 風情 (1), 寂しい (1), <u>都会</u> (1), 実家 (1)
人の声	7	6.4	うるさい (3), 人が多い (1), <u>怖い</u> (罵声) (1), 懐かしい (1)
飛行機の音	7	6.4	うるさい (2), 不快 (1), 不安 (1), 爽快 (1), 楽しい (1), <u>寂しい</u> (1), <u>落ち着かない</u> (1)
信号機の音	6	5.5	和む (1), 懐かしい (1)
電車の音	6	5.5	うるさい (1)
物売りの音	6	5.5	季節を感じる (2), 懐かしい (1), 落ち着く (1), 実家 (1)
地域の放送	4	3.6	田舎 (2), 懐かしい (1), うるさい (1)
暴走族の音	4	3.6	うるさい (3), 怖い (1), 軽蔑 (1)
動物の鳴き声	3	2.7	<u>少し寂しい</u> (1), 聞きたくない (けもの) (1)
農作業の機械の音	3	2.7	うるさい (2), のどか (1)
車のクラクション	3	2.7	うるさい (2), 緊迫感 (1)
風の音	2	1.8	寂しい (1), 木が多い (1)
木のざわめき	2	1.8	気持ちよい (1), 癒される (1)
カエルの声	2	1.8	懐かしい (1), 季節を感じる (1)
車の音	2	1.8	うるさい (1), 環境に悪い (1)
船の汽笛, 霧笛	2	1.8	良い雰囲気 (1)

n=108

2) 下線部は、各音が聞こえない状況に関連した回答と思われるもの

以上の結果から、京都市内では、人の声だけでなく、車の音、信号機の音、古紙回収の音といった人工的な音や川の音といった自然の音も上位を占め、都会の音というよりは、生活に密着した幅広い内容の音が全体的に含まれていた。音に対する意見についても、京都らしいというものもみられ、地域の特色が音に表れているものといえる。

2. 他の地域でよく聞こえ、京都市内ではあまり聞けない音

延べ109の回答が得られた。上記の1と同様に、ほぼ同じ意味の言葉を含むと思われる音の種類や音に対する意見は同一のものとしてまとめた (表5)。

最も多い回答は、「海の音」と「鳥の声」であった。海の音に関しては、明らかに京都市がどの海にも面していない地域であるためと推測でき、海の音に対して

は肯定的な意見をもつ回答がみられた。鳥の声に対しては、街中ではあまり鳥をみかけないことが考えられた。鳥の声に対しても比較的肯定的な意見がみられた。次に多い回答は、「虫の声」であった。鳥と同様、虫も市内ではあまり目にするのが少ないと考えられた。虫の声に対する意見についても、鳥の声と同様、肯定的な意見がみられた。その次に多い回答は、「人の声」と「飛行機の音」であった。「人の声」は、1の京都市内で聞こえる音の上位に挙げられていた。しかし、京都市内はかなり大きく、人の声がよく聞こえてくる場所もあれば、そうでない場所もあると考えられた。人の声に対しては、『うるさい』という意見がみられ、1の京都市内で聞こえる音の回答と共通していた。「飛行機の音」に関しては、京都市近辺に空港がなく、上空に飛行機そのものを見かけないことが影

響していると考えられた。飛行機の音に対しては、人の声と同様、やや否定的な意見がみられた。

以上の結果より、京都市内で聞こえない音には、海や鳥、虫といった自然の音だけではなく、飛行機の音、人の声も上位に含まれていた。したがって、騒音となる音が他の都市よりは少ないかもしれないが、自然の音も一部では聞こえないものがあり、心地よい音とそうでない音の両方があまり聞こえないことから、いわゆる都会よりも、やや静かな環境にあると考えられる。また、京都市内で聞こえる音と聞こえない音に関して、上位での回答の重複がみられたことから、市内の場所によって音環境がかなり異なることも推察される。また、対象者が様々な地域出身ということも予測され、音に対する認識の個人差もある可能性が考えられる。

3. 京都市内の音環境について、どのように思うか

77の回答が得られた。「静か」、「うるさい」といった意見が一部みられたが、特徴的な記述は見当たらなかった。全体の意見を肯定的意見または否定的意見に大まかに分類したところ、表6に示したように、肯定的意見は全体の36.4%であり、否定的意見はその半分程度の18.2%であった。また、肯定的意見と否定的意見の両方が含まれた回答も18.2%であった。上記の京都市内で聞こえる音と聞こえない音の回答でみられたように、両者の音に心地よいと思われる音も騒音とみなされる音も含まれていたことから、ある一地域でも幅広い種類の音が聞こえたり、場所によって音環境が異なっていたりすることがこの結果からも推測される。

表6 京都市内の音環境に対する意見

音環境に対する意見	回答者数	%
肯定的	28	36.4
肯定的かつ否定的	14	18.2
否定的	14	18.2
不明	21	27.3

n = 77

全体的考察

本調査では、駒ヶ根市および京都市で聞こえる音と

聞こえない音を尋ね、それぞれの音環境の特色を調べた。駒ヶ根市で聞こえる音は自然の音や住民の生活に密着した音が多く、人工的な音、騒音は少なかった。また、音環境としては、全体的に静かで自然の音が多い環境と認識されており、多数の対象者が駒ヶ根市の音環境を肯定的にとらえていた。

一方で、京都市で聞こえる音は、自然の音だけでなく、人工的な音や人の声も多く、様々な種類の音が聞こえる環境と考えられた。また、市内の地域によって音環境が異なることも考えられ、静かな音環境の地域だけでなく、にぎやかな音環境の地域も併せもっていると推察された。

両者の市の音環境はそれぞれ異なるものではあるが、いずれの地域でも聞こえてくる音は生活に深く関わる音であり、そこで聞こえてくる音から地域の良さを垣間見ることのできるだろう。今回の調査により、駒ヶ根市では自然や生活に関わった音がよく聞こえ、どのような音が代表的なものであるのか、どのような音環境にあるのかを提示することができたと考えられる。また、対象者の意見から、音環境としては住みやすい地域の一つであることが予想され、地域の音環境を保全することも考える必要があるだろう。

今後の課題としては、まず、今回挙げられた個々の音の特質を確認する必要がある。挙げられた音の中には、1年を通じて同じような音の大きさで聞こえるものもあれば、季節や天気により異なるものもある。また、同じ種類の音でも場所によって音の聞こえ方が異なることもある。そのため、1年を通して一定の環境下でそれらの音を継続的に測定し、音の特質を示すことが必要である。

次に、駒ヶ根市の特徴的な音風景には、具体的にどのような場面（場所）が挙げられるかを検討することが考えられる。これまで、全国を対象として環境庁によって実施された「残したい日本の音風景百選」のほか、「名古屋音名所」、「残したい福岡の音風景二十一選」、「ながさき・いい音の風景二十選」、「ねりまを聴く しずけさ10選」など、国内の各地域で音名所や残したい音風景が選定されている（岩宮、2000；平松、2007）。このような取り組みは音環境に対する意識を高め、音環境に関する環境教育や音環境の保全につな

がると考えられている（岩宮, 2000; 岩宮, 2007）。また、音が地域のシンボルとしての音「資源」となり、村おこしや町おこしにつながることも指摘されている（岩宮, 2007）。駒ヶ根市においても様々な音環境を有していることから、駒ヶ根市の音の名所、残したい音の風景を今後選定することも可能と考えられる。

さらに、本調査の結果より、駒ヶ根市の音環境は地域住民の心身の健康に寄与している可能性が予測される。自然の音だけでなく、人工的な音も含め、音は人間の生活とは切り離せないものである。そのため、そこに生活する人々に少なからず影響を及ぼしている可能性が考えられる。そこで、駒ヶ根市の音環境によって生じる心理的影響を調べ、音環境が地域の人々の健康資源にもなり得るかどうかを検証することも今後必要と考えられる。

付 記

本研究は、平成20年度長野県看護大学特別研究費補助金（「音環境が地域景観に及ぼす影響」、研究代表者: 松本淳子）の補助を受けて行われた。また、本研究は、平成20年度長野県看護大学研究集会において発表された。

文 献

- 平松幸三（2007）：サウンドスケープデザイン, 桑野園子（編）, 音環境デザイン, 173-242, コロナ社, 東京都.
- 岩宮眞一郎（2000）：音の生態学－音と人間のかかわり－, コロナ社, 東京都.
- 岩宮眞一郎（2007）：音のデザイン－感性に訴える音をつくる－, 九州大学出版会, 福岡市.
- 岩宮眞一郎, 細野晴雄, 福田一昭（1992）：音環境と景観の相互作用－景観の印象に及ぼす音環境の影響と音環境の印象に及ぼす景観の影響－, 生理人類誌, 11, 51-59.
- 岩宮眞一郎, 岡 昌史（1998）：外国人が聞いた日本の音風景－福岡市在住の外国人に対する音環境調査－, 日本生理人類学会誌, 3, 19-24.

岩宮眞一郎, 柳原麻衣子（1999）：福岡市在住のアジア系留学生に対する音環境調査, 騒音制御, 23, 267-273.

松本じゅん子, 野坂俊弥, 北山秋雄（2009）：里山の音に対する印象評価－都市部と地方の大学生による比較－, 信州公衆衛生雑誌, 3(2), 9-15.

【Report】

How college students perceive the sound environment in a highland rural town in Japan

Junko MATSUMOTO¹⁾, Toshiya NOSAKA¹⁾, Akio KITAYAMA¹⁾,
Akira TAGAYA¹⁾

¹⁾ Nagano College of Nursing

【Abstract】 We investigated the college students' perception of their sound environment in Komagane, Nagano Prefecture, using an unstructured questionnaire. Students of a four-year college in Komagane were asked to list up both the sounds frequently heard and the sounds infrequently heard in Komagane. They were also asked to give their views about the sound environment in Komagane. The sounds they answered that they frequently heard were those of wind, birdsong, stream, the voice and music by municipal public address system, and frog chorus. Most of them were the sounds heard in the natural environment or in the community. The sounds they answered that they infrequently heard were those of cars, human voice, trains, stores, and strolling vendors' voice. Most of them were the sounds generated in living activities. As to views about the sound environment in Komagane, participants answered that they found it very quiet and abundant in natural sounds. About three quarters of them expressed positive or rather positive views. This demonstrates a contrast with the results of the study on the sound environment in Kyoto, where only one third of the participants expressed positive views. These results suggest that the sound environment in Komagane is comfortable to the inhabitants.

【Key words】 sound environment, Komagane City, natural environment, natural sound, college students

松本じゅん子
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694
長野県看護大学看護学部
Tel: 0265-81-5132 Fax: 0265-81-5132
Junko Matsumoto
Nagano College of Nursing
1694 Akaho, Komagane, 399-4117, Japan
Tel: +81-265-81-5132 Fax: +81-265-81-5132
E-mail: matsumoto@nagano-nurs.ac.jp